

伊集院保健所感染症情報

2025年第5週（令和7年1月27日～令和7年2月2日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第2週	第3週	第4週	第5週	先週からの増減	第4週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	36.80	16.40	9.40	2.00	↘	13.22	↘
COVID-19	—	—	—	7.20	5.00	2.80	5.20	↗	4.81	↗
咽頭結膜熱	3	1	—	1.00	0.00	1.33	1.33	→	0.88	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	2.00	3.00	3.33	2.33	↘	3.35	↗
感染性胃腸炎	20	12	—	2.00	4.33	4.00	5.00	↗	7.63	↗
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.22	→
手足口病	5	2	—	0.33	0.00	0.33	0.00	↘	0.16	↘
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.33	0.00	0.00	→	0.08	↘
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.33	↗	0.31	↗
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
RSウイルス感染症	—	—	—	0.00	0.33	0.00	0.33	↗	0.35	↗

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

● TOPIC 2025年4月より带状疱疹の定期予防接種が始まります

带状疱疹は水痘(みずぼうそう)と同じ，水痘・带状疱疹ウイルスによって起こる病気です。初感染では水痘を引き起こしますが，治癒後もウイルスは体内に長期間潜伏感染しており，その後，加齢等により免疫が低下するとウイルスが再活性化して带状疱疹を発症します。

症状としては，体の片側に帯状の皮疹が出現し，多くの場合強い痛みを伴います。皮疹が消失した後も長期に痛みが持続することがあり，これを带状疱疹後神経痛と呼びます。

带状疱疹は，70歳代で発症する方が最も多くなっています。早期に治療を開始することで神経痛のリスクを軽減できるので，早めの受診が非常に重要です。また，予防にはワクチンが有効です。

（定期予防接種の対象となる方）

- ①年度内に65歳を迎える方。
- ②60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり，日常生活がほとんど不可能な方。
- ③令和7年度から令和11年度までの5年間の経過措置として，その年度内に70，75，80，85，90，95，100歳（※）となる方。

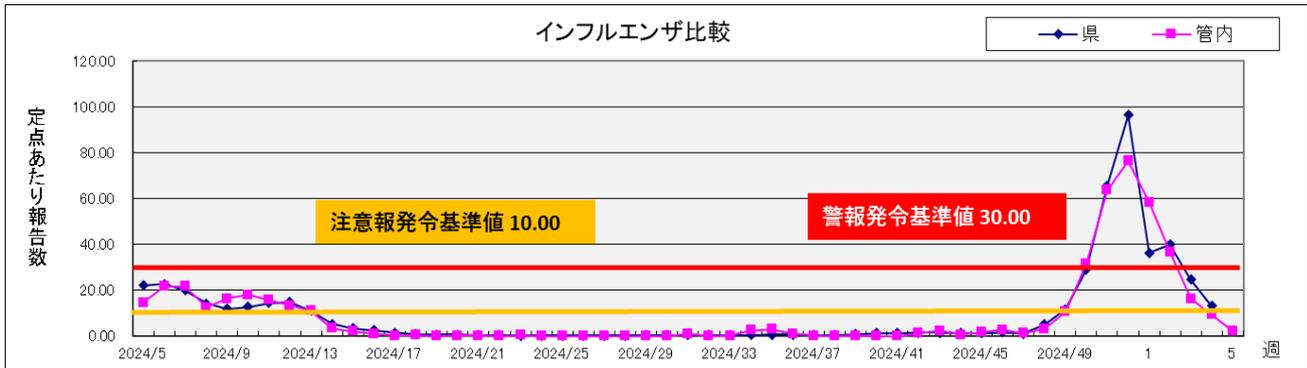
※ただし，100歳以上の方については，令和7年度に限り全員対象となります。

（定期予防接種を受ける方法・費用）

詳しくは，お住まいの市町村にお問い合わせください。

● 注意すべき感染症

・インフルエンザ

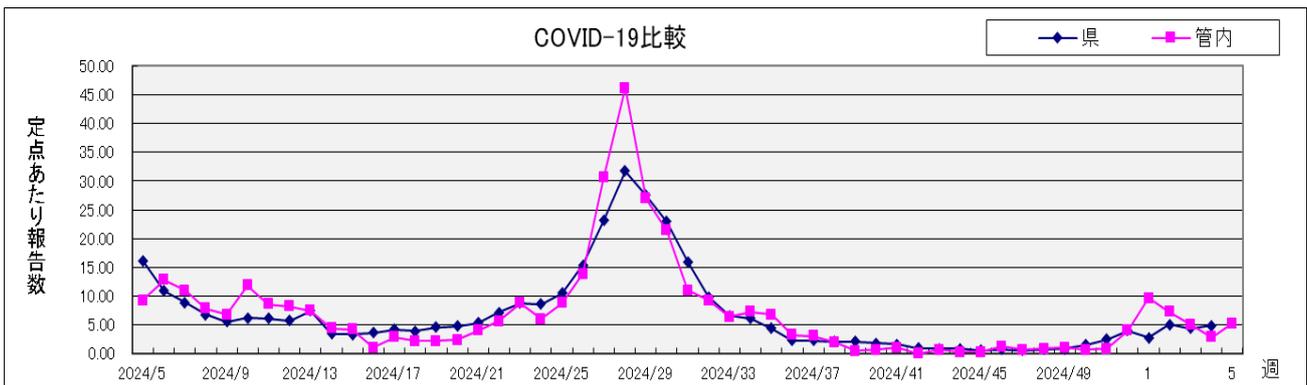


第5週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、4週の47人(定点当たり9.40)から37人少ない、10人(定点当たり2.00)です。

年齢別の報告では、10～14歳・40～49歳・80歳以上(各2人)、15～19歳・50～59歳・60～69歳・70～79歳(各1人)となっています。

インフルエンザは、発症すると38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

・COVID-19



第5週の伊集院保健所管内におけるCOVID-19の報告数は、4週の14人(定点当たり2.80)から12人多い、26人(定点当たり5.20)です。

年齢別の報告では、15～19歳・30～39歳・60～69歳(各3人)、20～29歳・40～49歳・50～59歳・70～79歳・80歳以上(2人)、0～5ヶ月まで・6ヶ月～11ヶ月・1歳・3歳・4歳・9歳・10～14歳(各1人)となっています。

新型コロナウイルス感染症の主な症状は、発熱、呼吸器症状(咳、咽頭痛)、頭痛、倦怠感等です。下痢、嘔吐、嗅覚・味覚障害をおこす事もあるため、注意が必要です。

感染症予防のポイント

- ①咳エチケット(口・鼻を覆う)
 - ②「液体石けん・流水による手洗い」か「手指消毒」
 - ③換気(部屋の換気を定期的に行う)
 - ④集団生活の場では、共用部分の消毒
- 基本的な感染対策ができていないか見直しをしてみましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況
1/27～2/2(出典:学校等欠席者・感染症情報システム)

第5週の出席停止については、インフルエンザ患者が13人(内訳:非定型インフルエンザが7人、A型インフルエンザが6人)、溶連菌感染症が2人、マイコプラズマ感染症が2人、COVID-19が7人、報告されています。

自治体名	疾患名	インフルエンザ	インフルエンザA型	溶連菌感染症	マイコプラズマ感染症	新型コロナ感染症
日置市		6	4	1	1	2
いちき串木野市		1	2	1	1	5
三島村		0	0	0	0	0
十島村		0	0	0	0	0
計		7	6	2	2	7